

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
南本 長徳			
月1			
添付ファイル			

科目の概要	教育課程とは学校の教育計画であり、教育内容とその授業時数等からなる。本授業では、教育課程の意味の解説から始め、学校教育における教育課程の基本的な構造(仕組み)、すなわち、目標、内容、方法等に関して包括的に理解できることを目指す。特に、わが国の教育課程編成の国の基準となる学習指導要領の法的な性格や指導内容についての理解を深めるとともに、各学校の教育計画のもとで、カリキュラム・マネジメントの考え方にに基づき、各学校で教育課程が具体的にどう編成され、実施されているかについて、学習評価を含め基礎的・理論的な理解を図っていく。
授業の内容	<p>第1回 教育課程という用語(概念) 教育課程とは何か、その意味について解説する</p> <p>第2回 教育課程の意義 教育課程の意義について説明する</p> <p>第3回 法令にみる教育課程 教育課程編成にかかわるわが国における法令(法的規定)を説明する</p> <p>第4回 学習指導要領とは何か わが国における小学校学習指導要領の性格と位置づけ、及び教科用図書を説明する</p> <p>第5回 教育課程の編成 教育課程の編成の原則について説明する</p> <p>第6回 教育課程編成の考え方 教育課程編成の諸理論(教科中心カリキュラムと経験中心カリキュラム)について、資料等を用い解説する</p> <p>第7回 小学校学習指導要領の概略 小学校学習指導要領の内容とその取扱について説明する</p> <p>第8回 小学校学習指導要領の内容 教科、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、特別活動の相互関連性について説明する</p> <p>第9回 教育目標と年間指導計画 小学校学習指導要領の教育目標の設定と年間指導計画の作成について説明する</p> <p>第10回 指導計画の作成 教育課程と指導計画の作成について説明する</p> <p>第11回 カリキュラム・マネジメントとは何か カリキュラム・マネジメントに基づく小学校学習指導要領における教育課程編成の手順を説明する</p> <p>第12回 教育課程の評価 教育課程の評価について説明する</p> <p>第13回 学習指導要領の変遷、その1 学習指導要領の歴史的変遷(昭和22年から昭和52年の改訂)について概説する</p> <p>第14回 学習指導要領の変遷、その2 学習指導要領の歴史的変遷(平成元年、平成10年の各改訂)について概説する</p> <p>第15回 講義内容の到達点と総括 授業内容の振り返りとまとめ</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>わが国の学校教育における教育内容の質的基準を規定している教育課程について学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育における教育課程の意義と役割を理解できる。 2. 教育課程に関する法令(学校教育法、施行規則、学習指導要領、教育要領)に関する知識を修得できる。 3. わが国の学校教育の全国的な教育水準を設定している学習指導要領及び教育要領の性格や内容を概念的に理解できる。 4. 各学校における教育目標を踏まえた教育課程の編成に際しての留意事項、カリキュラム・マネジメントの在り方、及び、教育課程の実施と学習評価を包括的に理解できる。 5. 学習指導要領・教育要領の改訂の変遷と主な改訂内容を、わが国の社会の変化との関連で理解できる。
授業の方法	授業時間内で、小学校の教育課程に関する理解を深めるために、(集団)討議の時間や小レポートの作成の時間を設定して、教育課程の講義内容に関する興味や関心を高め、関連した基礎的・基本的知識の習得を促進させる。
成績評価の方法	「定期試験」が80%、「小レポート」が10%、授業中の「発表」が10%
教科書・テキスト	1. 文部科学省編『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編』東洋館出版 平成30年

	2. 文部科学省編『小学校学習指導要領』（平成29年3月告示）東洋館出版 平成30年
参考書	1. 文部科学省編『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』東山書房 平成30年 2. 南本長穂編『新しい教職概論』ミネルヴァ書房、平成28年
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	◎ 小レポートや調べ学習などを課題とする。 【予習・復習の学習内容】（時間 各90分程度） 1回 復習：本日の説明の中心である、「教育課程」の意味内容を指定した教科書を参照しながら理解を深める。 2～14回 予習：次週学ぶ教育課程に関する内容項目をよく調べ、学ぶ内容の重要な点をおさえておく。 復習：授業内容に関連する重要用語の意味をよく理解し、自分で説明できるレベルに到達する。 15回 予習：これまでの14回の講義で学習した教育課程に関する主要な課題や重要な専門的教育用語の使い方を復習し、理解を定着させる。 復習：わが国の小学校における教育内容が、どのような観点や意図から構成されているかを概念的に理解できるまで、学習を深める。
履修上の留意事項	教育課程に関する専門用語はたくさんあるので、常に予習と復習で、用語の意味内容に習熟してください。授業中は授業内容に関係のない私語は慎んで下さい。
オフィスアワー	授業終了後に教室で
担当教員への連絡方法	教務課に申し出て下さい
その他	